

# 令和元年度 大和市文化芸術顕彰 受賞者

「大和市文化芸術顕彰」とは、平成21年12月に制定した大和市文化芸術振興条例に基づき実施しているものです。優れた創造活動を行っている芸術家や大和の文化芸術の発展に貢献した人を表彰しています。

## 文化芸術賞



### 奥山 たか子 氏（日本画家）

市内在住。東京芸術大学大学院日本画科修了後、日本画の大家・平山郁夫氏に師事、大和市を代表する日本画家の一人。大和市内にアトリエを持ち、日本画最大の公募展覧会の日本美術院展に精力的に作品を出品。院友として創作活動を続け、入選を重ねた後に同展の特待に推挙される。同時に、カルチャースクールでの日本画教室講師を務め、後進の育成に取り組むとともに、2002年から大和市文化祭一般公募展 絵画の部の審査員を10年間務めるなど、本市文化芸術の振興にも大きく寄与している。



### 渡邊 ちよんと 氏（水墨画家・イラストレーター）

市内出身在住。岩手大学大学院獣医学専攻修了。順天堂大学医学部衛生学助手を経て画業に専念。新聞小説挿絵（伊東潤「茶聖」幻冬舎、相場英雄「御用船帰還せず」幻冬舎、鈴木英治「わが槍に捧ぐ」学芸通信社、他）、広告、書籍、TV等幅広く活躍。日体大、島根八重垣神社等収蔵も多数。水墨画パフォーマンスではHINODE POWER JAPAN（モスクワ）、日体大創立125周年慶祝典、XFLAG PARK他出演多数。シリウス開館1周年記念式典でのパフォーマンスやシリウス広報紙表紙の挿絵など、本市文化芸術の振興にも寄与。

## 文化芸術振興賞



### 大垣 鳳菜 氏（華道家）

市内在住。小原流研究院の講師として全国を回りながら、大和華道協会の役員として長きにわたり運営に携わる。2009年から同協会会長を務め、15流派、200人の会員を束ねる。協会として大和市文化祭や大和市さくら文芸祭などの市イベントへの添花出瓶に協力するほか、市役所本庁舎や大和警察署、市民活動拠点ベデルギウスなどの市内公共施設に長きにわたり挿花を続けるなど、本市の文化芸術の振興に大きく貢献している。

## 文化芸術未来賞



### 三枝 晴太 氏（和太鼓奏者）

市内出身。下鶴間の和太鼓サークル「鼓鶴会」に6歳から所属。横浜隼人高校では和太鼓部に所属し、部長としてチームを牽引、関東大会金賞を獲得する。卒業後、太鼓芸能集団「鼓童」の試験を合格し、研修生として入団、2年間の研修期間を経て、2017年に準メンバー、2018年に正式メンバーへ昇格。

太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能の普及を志し、数多くの公演をこなしながら日々稽古に打ち込むなど、将来の文化芸術の継承者として活躍が期待される。